

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【公開番号】特開 2019-8419 (P2019-8419A)

【公開日】平成 31 年 1 月 17 日 (2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報 2019-002

【出願番号】特願 2017-121600 (P2017-121600)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/20 (2012.01)

G 0 9 B 19/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/0483 (2013.01)

G 0 6 F 3/16 (2006.01)

【F I】

G 0 6 Q 50/20

G 0 9 B 19/00 Z

G 0 6 F 3/0483

G 0 6 F 3/16 6 5 0

G 0 6 F 3/16 6 2 0

G 0 6 F 3/16 6 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 24 日 (2020.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明に係るデータ送信方法は、電子機器が、対象のテキストデータを表示部に表示させる表示処理と、表示された前記対象のテキストデータ上の位置指定を伴うユーザの指示を検知する検知処理と、前記ユーザの指示が検知されたタイミングに応じて、音声入力部に入力される音声データの中から対象の音声データを特定する特定処理と、特定された前記対象の音声データを、前記ユーザの指示で位置指定される前記対象のテキストデータ上の位置に対応付けて送信する送信処理と、を実行することを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子機器が、

対象のテキストデータを表示部に表示させる表示処理と、

表示された前記対象のテキストデータ上の位置指定を伴うユーザの指示を検知する検知処理と、

前記ユーザの指示が検知されたタイミングに応じて、音声入力部に入力される音声データの中から対象の音声データを特定する特定処理と、

特定された前記対象の音声データを、前記ユーザの指示で位置指定される前記対象のテキストデータ上の位置に対応付けて送信する送信処理と、

を実行するデータ送信方法。

【請求項 2】

前記特定処理は、前記検知処理によるユーザの指示の検知毎に、前回の指示の検知以降で今回の指示の検知より前に前記音声入力部に入力される音声データを前記対象の音声データとして特定する処理であり、

前記送信処理は、前記検知処理によるユーザの指示の検知毎に、前記特定処理により特定された前記対象の音声データを、前記ユーザの指示で位置指定される前記対象のテキストデータ上の位置に対応付けて送信する処理である、

請求項 1 に記載のデータ送信方法。

【請求項 3】

前記電子機器は講義者の端末であり、

前記対象のテキストデータは、講義者が受講者に講義する講義対象のテキストデータであり、

前記送信処理は、特定された前記対象の音声データを、前記ユーザの指示で位置指定される前記対象のテキストデータ上の位置に対応付けて講義データとして受講者の端末へ送信する処理である、

請求項 1 または 2 に記載のデータ送信方法。

【請求項 4】

前記送信処理は、特定された前記対象の音声データを、前記ユーザの指示で位置指定される前記対象のテキストデータ上の位置に対応付けて記憶部に講義データとして登録し、前記記憶部に登録された講義データを送信する処理である、

請求項 3 に記載のデータ送信方法。

【請求項 5】

前記表示部はタッチパネル付き表示部であって、

前記検知処理は、前記タッチパネル付き表示部に表示された前記対象のテキストデータ上でユーザのタッチにより指示される位置を検知する処理である、

請求項 1 乃至請求項 4 の何れか 1 項に記載のデータ送信方法。

【請求項 6】

前記検知処理は、前記音声入力部に入力された音声データを音声認識して、前記音声認識された音声データに基づいて、前記対象のテキストデータ上の位置指定を伴うユーザの指示を検知する処理である、

請求項 1 乃至請求項 4 の何れか 1 項に記載のデータ送信方法。

【請求項 7】

前記電子機器が、

前記音声入力部に入力された音声データを音声認識して、前記音声認識された音声データが対応の音声データを含むか判断する判断処理を実行し、

前記送信処理は、前記対応の音声データを含むと判断した場合、前記特定処理により特定された前記対象の音声データを、前記対応の音声データを含むと判断した同音声データの部分に出力禁止の制御情報を付加するとともに、前記ユーザの指示で位置指定される前記対象のテキストデータ上の位置に対応付けて送信する処理である、

請求項 1 乃至請求項 6 の何れか 1 項に記載のデータ送信方法。

【請求項 8】

前記送信処理は、前記検知処理により前記対象のテキストデータ上の音声アイコンの位置を指定するユーザの指示が検知された場合、特定された前記対象の音声データを、音声再生の制御アイコンに対応付けて送信する処理である、

請求項 1 乃至請求項 7 の何れか 1 項に記載のデータ送信方法。

【請求項 9】

対象のテキストデータを表示部に表示させる表示手段と、

表示された前記対象のテキストデータ上の位置指定を伴うユーザの指示を検知する検知手段と、

前記ユーザの指示が検知されたタイミングに応じて、音声入力部に入力される音声データの中から対象の音声データを特定する特定手段と、

特定された前記対象の音声データを、前記ユーザの指示で位置指定される前記対象のテキストデータ上の位置に対応付けて送信する送信手段と、  
を備えたデータ送信装置。

【請求項 10】

コンピュータを、

対象のテキストデータを表示部に表示させる表示手段と、

表示された前記対象のテキストデータ上の位置指定を伴うユーザの指示を検知する検知手段と、

前記ユーザの指示が検知されたタイミングに応じて、音声入力部に入力される音声データの中から対象の音声データを特定する特定手段と、

特定された前記対象の音声データを、前記ユーザの指示で位置指定される前記対象のテキストデータ上の位置に対応付けて送信する送信手段と、

として機能させるためのコンピュータ読み込み可能なプログラム。